



## 職員紹介 02

### 丸山 歩

Ayumi Maruyama

平成5年度採用  
消費統計課  
物価統計室  
課長補佐  
教育学部出身

あなたの現在の仕事を教えてください

### 商品の小売価格、サービスの料金、家賃を全国的規模で調査

現在は、小売物価統計調査の企画・公表、調査システムなどの業務を担当しています。小売物価統計調査は、毎月、消費者物価指数の基となる、商品の小売価格、サービスの料金、家賃を全国的規模で調査しています。

今は、消費者物価指数の中でもウエイトの大きい「家賃」について、調査する地域を見直すため、都道府県庁の方々から調査の実態についての貴重なご意見を伺いながら、標本設計などの検討を行っている最中です。

消費者物価指数は、日本銀行の政策目標とされている大変重要な指標なので、報道等で取り上げられるのを見るたびに、身が引き締まる思いです。

印象に残っているエピソードは？

### 数値を読み解く経験が、自分の財産に

今まで、調査結果の審査・発表をする業務に携わる機会が多かったので、数値を読み解く経験が、自分の財産になっていると思います。

以前、経済情勢について、自らテーマを設定し、分析レポートを作成する部局にいたことがありました。寝ても覚めても、どのような仮説が考えられるのか…などの事が頭から離れず、産みの苦しみを常に実感しておりましたが、複数の統計を組み合わせ、意外な分析結果を導き出せた時は、それまでの苦勞が吹き飛ぶ思いでした。また、そのように自分が作成したレポート結果が新聞記事で紹介された時は、皆さんにも興味を持っていただけたと思い、嬉しかったです。

---

仕事をするときに大切にしていることは？

### 分かったつもりにならない

私は文科系学部を卒業しましたが、最初は、統計センターのプログラミングを行う部署へ配属されました。プログラム作成は、少しの疑問を放置してしまったり、自分の思い込みで処理をしてしまうと、大きなミスにつながりかねない、大変緊張感あふれる業務でした。しかし、その経験から、「分かったつもりにならない」ということを学んだ気がします。

これからも仕事をする時は、自分の意見に固執していないかを自問自答し、さらに、さまざまな方からのご意見に対して、虚心坦懐に聞き耳を常に持てるように心がけられればと思っています。

---

入省したきっかけは？

### 国勢調査の調査員を経験

学生時代、親戚が地方公共団体に勤務していた縁から、国勢調査の調査員を引き受けた事が、私が政府統計と初めて直接関わった出来事でした。気軽に引き受けた分、調査世帯への訪問や提出物の作成など、苦労も多かったのですが、「この個々の調査票から、どのように結果がまとめられるのだろう」と単純に興味を抱き、官庁訪問で統計局の門を叩いてみました。

理数系の知識が全くない私でしたが、統計理論やプログラミング技術などの研修を受講する機会にも恵まれ、さらに統計の面白さを改めて感じています。統計局に訪問していただければ、「自分の知識をどう生かせるか」が見えてくると思います。想いを官庁訪問で是非聞かせてください。

---

## 一日のスケジュール

9:00

### 登庁

今日一日の流れを想定するため、上司、室全体のスケジュールを確認するのが朝イチの日課

10:00

### 研修会準備

午後から、都道府県職員参加の研修会を開催。議事進行や会場設営等について再確認

12:00

### ランチ

職場の先輩に囲碁を教えてもらいながらのランチ。全然上達しないのでへこみます…

13:00

### 研修会開始

大人数の前で説明するときは、いつもちょっと緊張

15:00

### 都道府県職員の方々と意見交換

統計実施の最大の力は現場にあることを再認識

16:00

### 研修会終了

ヒアリング内容を踏まえ、今後の業務の方向性を検討

18:30

### 退庁

閉館時間を延長している展覧会に間に合いそうなので、上野までダッシュ

---

## キャリアステップ

平成5年 総務庁統計センター 情報処理課

---

平成12年 総務庁統計センター 電子計算機室

---

平成13年 統計局参事官付

---

平成17年 統計局調査企画課

---

平成19年 統計局統計調査部  
国勢統計課労働力人口統計室

---

平成20年 経済産業省調査統計部  
経済解析室

---

平成22年 統計局統計調査部  
消費統計課物価統計室

---

平成27年 統計局統計調査部  
経済統計課

---

平成29年 統計局統計調査部  
消費統計課物価統計室

---

---